

当園が大切にしたい考え方 教育・保育方針



一番だいじなことは人間観

本園は、人それぞれに仏性（ぶっしょう）があるとす
る仏教的人間観を基礎に置いています。



保育 = 「教育」 + 「養護」

ここが小学校以上の学校教育とは違うところです。幼児には、就
学前の教育と同時に、暖かく包み込む養護が不可欠です。多様な
世界の体験の機会を用意し、人とのつながりである社会性と世界
への興味と関心を養いつつ、その成長のお手伝いをすることを使
命と考えています。



子どもと保育者との関係が暖かであること

子どもにとって保育者（教諭＝先生＝担任）は、最高のお手本
であり、育つ環境を一身に体現している存在です。保育者との
家族的で暖かな交流を通じて、子どもが快適で安心できる人間
関係のなかで育まれるということが、子どもの成長にとって最
も大切なことであり、これが保育の基本であると考えていま
す。



あるがままのこどもの姿をだいじにすること

子どもにとって保育者（教諭＝先生＝担任）は、最高のお手本であり、
育つ環境を一身に体現している存在です。保育者との家族的で暖かな交
流を通じて、子どもが快適で安心できる人間関係のなかで育まれるとい
うことが、子どもの成長にとって最も大切なことであり、これが保育の
基本であると考えています



子どもが生活しやすい場所であること

幼稚園は子どもが生活しつつ学ぶところです。子どもが家庭と同じ気持
ちで生活するためには、なにか必要でなにか必要でないか、すべての選
択の基準をそこにおいて保育を組み立てて行くよう努めています。